



TAKERUさんの力感あふれる和太鼓演奏

撮影／工藤勝弘さん（鶴田写真クラブ）

つるたアートフェスティバル

世界で活躍する和楽器奏者が鶴田に集った！

和楽器のスペシャリスト
たちによる共演

10月13日（土）、14日（日）、鶴田町歴史文化伝承館（旧水元小学校）で、「鶴田アートフェスティバル」が開催され、和楽器を奏でるアーティストたちのコンサートや写真愛好家による写真撮影&講習会が行われました。

13日、同会場で開かれた「ふれあいコンサート」には、日本でも有数の和楽器奏者の出演とあつて、町内外から400人にもものぼる観衆が訪れました。

コンサートは、1部で和楽器奏者と小学校児童との競演、2部は、民謡の一戸平二・川村貞男、津軽三味線の長峰健一・葛西頼之・笹川皇人、横笛の佐藤ぶん太、和太鼓のTAKERU、琴の菊池伸城・衣袋聖志・鈴木真一郎と、各界のスペシャリストたちによる共演が行われました。

1部で行われた「富士見小学校獅子舞&葛西頼之」は、今までの富士見小学校獅子舞とは違う三味線の入ったおもしろい、それに合わせて踊る獅子舞が会場の雰囲気と相まって、幻想的なステージを繰り広げていました。

また、2部で行われた日本を代表する和太鼓奏者TAKERUさんの演奏は、力感のあふれる正に「魂の鼓動」といった演奏で、観衆の心に深く響き渡っていました。



- ・写真右／三味線の葛西頼之さんと笹川皇人さん
- ・写真中／葛西頼之さんと富士見小獅子舞がコラボレーション
- ・写真左／民謡の一戸平二さんと横笛の佐藤ぶん太さんのコラボレーション





手のひらが渦巻くように見える「目の錯覚」の実験

「かがくのふしぎ」をみんなで体験

第19回 鶴田町子どもの祭典

化学の不思議さに驚く

11月3日（土）、鶴田町保健福祉センター鶴遊館で、鶴田町子ども会育成連絡協議会（中村琢司会長）主催「第19回鶴田町子どもの祭典」が開催され、この日を待ちわびていた子どもたち200人が祭典に参加しました。

午前のイベントは、化学を楽しむ子どもたちに教える講師として知られる神田昌彦先生（黒石市教育委員）による「かがくのふしぎ体験」が行われました。

体験の「渦巻きのイリュージョン」では、回転するスクリーンの映像を見てから自分の手を見ると、手のひらがグルグルと渦を巻いたように見える目の錯覚の実験（運動残効の実験）が行われ、錯覚して見えた子どもたちは「すごい、手のひらが回ってる」ととても驚いた様子で実験を楽しんでいました。

また、会場内には人気の「子ども会の出店」が立ち並び、お昼の時間になると子どもたちが一斉に群がり、あつという間に完売する盛況ぶりでした。

イベントは、中高生リーダーたちが子どもたちにゲームやダンスを教える「ジュニアリーダーズタイム」、「鶴田最大 ビンゴ大会」が開かれ、参加したみんなが「化学と遊び」を体験した楽しい1日になりました。



- ・写真右／ものづくりコーナーではクリスマスリースを作る
- ・写真中／さまざまな化学実験を見せてくれた神田昌彦先生
- ・写真左／ビンゴ大会で息をのむ子どもたち